

平成 25 年 7 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県内の「業界の景況（前年同月との比較）」は、悪いと感じている人が、先月（6月）よりも若干増えている。

円安の影響で、食料品製造業は輸入原材料が値上がり、卸売業、運輸業は燃料の高止まりで、収益の確保が厳しい。小売業の一部では女性向け衣料品が好調。旅館業では7月前半は不調、夏休みに入った下旬から子供連れ客が増えた。建設業からは本年度の本格発注はまだだが、現時点で前年より若干増加しているとの報告もある。

一部の業種で、前年よりも売上・受注とも増加傾向であるが、低価格・短納期受注や海外発注の流れは止まっていない。今後に期待する声がある一方円安によりさらに収益の確保に苦慮するのではないかと先行きに不安を持つ声も聞かれる。

山口県の主要指標 DI 値（平成 25 年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 8.8% 悪化：33.8% DI 値：▲25.0% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）









前年同月比は、増加： 21.3% 減少：31.3% DI 値：▲10.0% ポイント







収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：33.8% DI 値：▲27.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 25 年 7 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲71.4	0.0	▲33.3	▲100.0	0.0	11.1	▲50.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲40.0	▲55.6	▲75.0	▲25.0	10.0	▲57.1	▲25.6
						

全 体
▲25.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>原材料の一つである砂糖が1kg当たり20円程上昇した。猶予期間があるが、栄養成分等の表示が義務化され、組合としては、山口県食品衛生協会に追随して、組合員にいかん普及啓発をするか検討中である。全国組織では、実施不可能との意見書を提出していたが、叶わなかった経緯がある。</p>	パン・菓子製造業
	<p>6月度は対前年2.7%アップ。7月は30日時点で対前年▲5.5%とやや苦戦の予測。28日の集中豪雨の影響で、月末4日間の売上が低迷したのが原因。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>急激な為替変動は落ち着いてきたが、副原料や資材などの値上げの実行が行われコスト面でとても逼迫している。一部製品の値上げを検討するが、販売面で不安。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>7月28日（日）に発生した豪雨により、山口市阿東地区の組合員企業が大きな災害を受けた。詳細については、現在、調査中であるが、今年度の売り上げには、相当な影響が出ると予想される。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>依然として、受注状況が回復せず、更に、大変厳しくなった。</p>	下着類製造業
	<p>輸出企業は復調著しいと思われるが、内需型の国内生産企業には、未だ波及していない。店頭での消費も現段階では増加が見られず、発注数も変化していない。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>盆明けの受注も順調に確保できている。増税後が心配なところ。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>新設住宅着工数は、やや増加傾向。消費税増税前の需要増に期待している。また、現時点での申請は無いが、「木材利用ポイント」の利用にも期待をしている。木材の価格には変動が無い。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>梅雨明け後、若干、引き合いも増えているが、組合員の中で、地元の蒲鉾製造業者の業績不振により蒲鉾板の受注が激減し、経営が厳しい状況となっている。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>昨年に比べ業績はかなり好転している感はあるが、資金繰りは厳しい状況が続いている。</p>	印刷 下関市
	<p>価格競争に歯止めが利かない。</p>	印刷 山口市

窯業・土石 製品	対前年同月比は、骨材143%、路盤材90%、再生材132%、全体では125%の出荷量となっている。アベノミクス効果が少しずつ出始めたのか、碎石の出荷量自体は徐々に増えており、入札も今から出るとの事である。	碎石製造業
	出荷量は、前月比99%、前年同月比は87%といずれも減少。4～6月の第1四半期の出荷量は、前年度93%。公共事業関連予算の増加に伴う出荷量の具体的な動きは、今のところない。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。セメントなど原材料値上げの動きがあるが、生コン価格は総じて安定している。	生コンクリート製造業
一般機器	出光など大手企業でタンクの土台等を海外に発注して地元に戻ってこなくなっているとの声あり。	一般機械器具製造業 周南市
	各組合員とも、この7月は前月と比べて変化なし。原材料費の値上げが、そろそろ影響して利益を圧迫する動きあり。	一般機械器具製造業 防府市
	企業の受注に若干の増加が見られ、明るい見通しがある。雇用にも若干の前向きな姿勢が見られるが、前月の状況から大きな変化は無い。	一般機械器具製造業 宇部市
	いずれも、前月どおりで推移している。	
	成形製品の動向は、自動車関連、民生部品とも見積案件は多少増えてきたが、受注の絶対量としてはまだ不足しており、機械稼働率も減少している。価格面については、相変わらず低価格化と短納期が続いており、しばらくは厳しい状況が続くと思われる。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	車輛、精密加工部門とも生産増の案件に乏しく、明るい状況にない。当分低空飛行状態は変わらず、製造単価の切下げばかりが目立ち、厳しい経営が続く。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	回復の見通しが無い状況が続いている。	各種商品卸売業 柳井市
	昨年よりもやや売上高が増加傾向にあるものの原材料・燃料の価格が値上がりしているが、販売価格に反映しにくい状況があり、収益悪化の影響がある。	各種商品卸売業 周南市
	少しずつではあるが、製造業製品の出荷量が増えて、動きが活発になって来た様に思う。	各種商品卸売業 防府市
	輸入原材料・食品等の値上げ、特にガソリンの高騰が続き、収益の確保が厳しい。	各種商品卸売業 山口市
	各業種とも配送コストが上昇しており、特にガソリン等の燃料は昨年同月比で10当たり10円程度高騰しているが、現状は、経費削減に努めて収益を確保している。	各種商品卸売業 下関市

小売業	<p>まだ、アベノミクスの影響は、あまり感じられないが、今月はボーナス月であり店頭は、少し賑わっている模様。カネボウ化粧品の美白成分問題が店頭でも話題になるが、こういう時こそ、専門店としてお客様とのつながりを大切にする時だと思う。</p>	化粧品小売業
	<p>域内は、高齢化により、介護施設、調剤薬局が好調である。土地・住宅等の不動産が動き始めているが、今後は、消費税を上げるかどうかで住宅建設の動向が決まる。土木建設の職人が不足しているが、このまま景気が上昇すれば従業員を増やしたいとの話もある。これらが、アベノミクスの効果かどうかについては、まだ疑心暗鬼の経営者が多く、むしろ金利の上昇を不安視している。小規模小売業者（食料品店・酒店・衣料品店・履物店・金物店等）は苦戦が続いている。共働きの就業スタイルにより、日中の商店街には人気が無く、会社帰りに大型店に寄り買い物をするのが大半を占めるので、今後は、経営者の高齢化もあり、廃業が増加すると考える。飲食業とパン製造業の2店が開業した。飲食店は美味しい食事とクチコミで、繁盛している。車関連企業は、操業率が高く、順調。観光事業は、海水浴客が多く、海で商売されている方は好調な様子。ゆう温泉は日帰り客が増加しているが、依然として泊まり客は少ない。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>例年通りの七夕まつり、夏祭りが開催される。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>前年同月比ではプラスの売上高となっているが、中心商店街のみでは、マイナスの売上高。その中では、女性向衣料品が好調となっている。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>猛暑が続いているが、ショッピングセンターの売上や客数共に前年を下回り、厳しい状況が続いている。</p>	各種商品小売業 長門市
商店街	<p>7月の「山口デー」の10日間は、「山口祇園祭」もあり客足が多かったため、売上も若干、増加した。8月は「提灯祭り」に、期待している。</p>	山口市
	<p>組合員の婦人服老舗が8月末までの、閉店セールを実施中。7月の土曜夜市は例年並みであった。</p>	萩市
サービス業	<p>暑くなり髪をカットする人が増え、お盆も近づき身だしなみを整える人が増えたので、少し客足が伸びた。</p>	美容業
	<p>毎月、毎月、社会経済が大きく変化する訳でもないので、大きな変化は無い。</p>	理容業
	<p>日銀の4月～6月の景気判断では「緩やかに回復している」との発表であったが、整備業界では依然厳しい状況が続いている。人口減少、競争激化や車両</p>	自動車整備業

	<p>のダウンサイジングによる整備単価の下落等厳しい環境下で売上確保を図るためには、CS向上や診断機を使用した車両診断に早急に取り組む必要がある。</p>	
	<p>猛暑続きにより、クーラー関係の冷暖房用品の売れ行きが好調。</p>	
	<p>状況は、なかなか変わらない状態。システム受託案件も非常に少なく、技術者派遣も県内は非常に厳しい状態。自社商品の販売、自社サービスを展開している企業で、しっかりと顧客を持っているところは、安定した企業が多い。徐々にではあるが、こういった方向にシフト出来た企業が生き残るであろうと思われるので、各社、苦しい中でも、新しいサービスを展開するしかない。</p>	情報サービス業
	<p>県内の業況に大きな変化は無い。</p>	屋外広告業
	<p>7月は、予想通りの厳しさで、前年に比べても芳しくないとの声が多く、観光バスはよく見かけたが、平日の宿泊が伸び悩んだまま終わった。夏休みに入った下旬は、子供連れのお客が増え、どの施設も8月に期待をしている。また、今年9月の「あるかぼーと」遊園施設の完成にも期待をしている。岩国錦帯橋空港を利用した、山口県内2泊滞在の関東方面のツアー客が引き続きよく下関に1泊している。中国・台湾・韓国の東アジアからのツアー客も観光・昼食の立ち寄りの利用が多い。</p>	旅館業 下関市
	<p>7月の入浴客数は前年比13%増加。今月は猛暑及び選挙の夏で、先月までの観光客の動向に変化有。客足が鈍ってきた。売上高は前年比8%増となった。</p>	旅館業 長門市
	<p>日本ジャンボリーをはじめ、8月の高等学校PTA連合会全国大会、10月の理容組合全国競技大会と、一連の全国大会で、それぞれの開催地は一時的に潤う。しかし、業界の低迷の基調は変わらず、好転への材料も少ない。組合員の体力は、もともと弱小であるところに、日に日に弱ってきており、組合員の減少にも歯止めがかからない。個々での解決は望が薄く、街づくり、集中化等、山口県全体での工夫が必要。</p>	飲食業
建設業	<p>中電への工事申請は6月155件（当市部分124件）、前年同月294件（同272件）。太陽光発電への申請19件、オール電化申請50件（前年は太陽光19件、オール電化19件）。LED街路灯への切替・新設申請は43件（前年72件）であった。</p>	電気工事業

	見積りは多くなりつつあるが、受注金額は増えていない感じである。	左官業
	公共工事の本年度分の本格発注はまだであるが、現時点での発注は前年に比べ、若干増加している。低入札受注の改善に向け、県工事の入札制度が8月から一部改正された。低入札の改善に期待できるが、状況を見守りたい。	土木工事業 柳井市
	景気回復の期待はあるものの、実感がない状況。	土木工事業 下松市
	7月の受注高は、前年同月比134%。今年度の累計は、前年比239%。	土木工事業 萩市
運輸業	7月前半の荷動きは誠に低調であった。20日以降は、輸出製品、素材等の出荷が主体となり、国内向けの鉄鋼素材の値上がりが予想されるのか、近県、県内輸送がやや活発に見られた。前年対比約30%弱の減。本月は軽油価格の上昇傾向が強く輸送業者にとって経営圧迫感が一段と高くなってきた。油関係は、2.3円の値上げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	7月も前月に続き輸送稼働は前年同月比10%程度の伸び。一方、燃料価格は高止まりの状態から上昇基調に入り、前年同月比で12%強の上昇となっている。利益の上昇はコスト高で相殺されている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流業については、飲料水や贈答品等、季節的な荷物の輸送案件が増加しているにもかかわらず、原油の高騰、運賃の低下が止まらず状況は苦しい。その他、シーズンの終了により、農薬等園芸用品の在庫が減少している。組合員の中においても園芸用品製造業の会社があり、同様の理由で売り上げが落ち込んでいる。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	ETC事業も順調に回復しつつあるので、組合運営は順調である。しかし、軽油店頭価格1ℓ:129円の値上げの通知があり、景気回復感が感じられたときであったので、気落ちした。今からもっといろいろな変化が起こるだろうと思われるが、頑張るしかない。	一般貨物自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比▲6.4%(平成25年6月1日～7月20日分)となり、昨年6月以降の減少になかなか歯止めがかからない。6月1日～30日分は▲9.0%減少、7月1日～20日分は▲2.0%と、減少割合は少なくなりつつあるようだが、景気回復とは言えない。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域で、防府市はほぼ前年同月並みの取扱いになったが、周南市、光市地区が大幅に減少している状況。日中の	一般旅客自動車運送業

<p>病院通い等、現金利用客の減少はそれほどではないが、コンビニートの大企業、夜間の飲食店関係が激減しており、タクシー事業者も、歩合給で働く乗務員も、非常に厳しい状況におかれている。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPは大幅に下降しているが、為替が円安になっているため、7月のタクシー会社の購入単価は6月と同額。前年6月から8月まで下降したこともあって、前年比+15%。アベノミクス効果で輸出関連産業や大都市圏では景気が回復しているようだが、地方の個人消費は一向に回復しているように思わない。</p>	
---	--